

第2回広域観光連携専門委員会 会議録

日時：平成29年8月1日

14:00～

会場：糸魚川市役所 201 会議室

1、開会挨拶

〈糸魚川市観光協会〉

2、報告

(1) 関西旅行エージェント招へい事業について

〈事務局〉

＝資料に基づき説明＝

- ・アンケート結果は見学した順番。八方北尾根高原は残念ながら昨年に引き続き雨で、マイクロバスでロッジまで行き、テラスでの説明になった。

(2) 訪日プロモーション地方連携事業旅行会社招請について

〈事務局〉

- ・白馬村観光局が対応したが、本日担当者が他の会議と重なり出席できないため、担当者がまとめたものをお伝えする。
- ・この事業は台湾からの旅行会社を招請するもの。4月に朝日町、糸魚川市、上越市に台湾のブロガーや旅行会社から招請し、日本海ルートに乗っていただいた。今回は北アルプスコースとして実施。日には7月20日～24日で、参加者はブロガー6名と旅行会社3名の計9名。コースについては白馬村が主。サイクリングの大会にも出場し、100kmコースに出たが、23日の豪雨で途中リタイヤした。前日まではいい天候で印象はよかった。24日は糸魚川のジオパルを見学。観光協会から案内をしてもらい富山空港から帰った。

〈委員〉

ブロガー、エージェントと他にカメラマンも1人いて10名だった。台湾も高い標高にはあるが、山映えがしない。ヨーロッパ風の景色はサイクリング向け。天候も、台湾はジメジメベタベタするが、北アルプスは暑くてもカラっとしていい。グランフォンドの大会は、雨が激しく寒かったのでリタイヤしたが、そのあと車でコースを見て回った。エイドでの人の対応や雰囲気良かった。食も台湾人向けに合うものが多く魅力のあるエリアだという声をいただいた。

課題としては、道路や路肩など、サイクリングコースとして整備されていないところが多い。ブルーラインやサインは無く、ボコボコしている部分もあるので何とかしていかなくてはならない。また、すでに秋のツアーを組んでみたいということも言っていたので、PRになったと思う。

3、審議事項

(1) 鉄道魅力発信事業について

〈事務局〉

＝資料に基づき説明＝

- ・キハ52ストラップキャンペーンだが、昨年は開始からわずか1か月でなくなった。実施期間はお盆明けの8月16日～11月30日で、無くなり次第終了。スタンプ設置駅は糸魚川駅、白馬駅、信濃大町駅。昨年は南小谷駅までだったが、南小谷駅は平日駅員が一人対応で、今回ストラップの数が2000個となると対応が厳しいので他の駅にしてほしい、ということで調整。
- ・昨年から新たに加わった点は、7種類のシールがストラップ1個につきランダムで1枚入っている。これは昨年のアンケートの結果で、シールやカードなどが入っていると良いという意見が多かったので反映させた。駅名プレートは乗った分だけ選べばコンプリート出来るが、シールは選べないのでリピーターもいるかと思う。チラシの裏面は昨年同様アンケートになっているので、期間が終わり次第回収・集計し、この結果を今後活かしたい。
- ・また、長野県から糸魚川地域振興局へ半分苦情の電話があった。昨年7月にキャンペーンを発表し、糸魚川市や県内はこぞって参加したが、信濃毎日新聞に取り上げられたのがほとんどストラップの個数がなくなっている時で「行った時にはストラップが無かった」と新聞社に苦情が行った。長野県側にも早めの周知をお願いしたいとの意見をいただいた。

〈委員〉

早速情報をとらえた鉄道ファンから問い合わせがあった。

〈委員〉

各3地区引換所のスタッフにはご苦勞をかけるが、状況把握と情報の共有をお願いしたい。

(2) カーゴトラック&トレインについて

〈事務局〉

今年度新規の事業。実施するにあたり課題も多くあるかと思われる。実施要領について説明させていただくので、意見等あればお聞かせ願いたい。

＝資料に基づき説明＝

サイクルトレインも運行しているが、現在3本運行した。カーゴトラック&トレインについてもどれくらい利用があるかわからないが、マスコミ等でも新たな事業として取り上げていただいたので、頑張っって実施したい。

〈委員〉

サイクルトレインを利用したが、乗車券と手回り料金で往復1900円。カーゴトラック&トレインは往復で3340円。約1500円高いが、本人は電車、自転車はトラックで運ぶというところで、不安と値段のバランスが心配。

〈事務局〉

ごもっともな意見だと思う。金額面でもう少し安くしたいが、採算面等を考えると、このような値段設定になる。

〈委員〉

利用者にとって、これを利用したらどんな楽しみがあり、どんな景色が見れるかなど、魅力等を早めに周知し、広げていく方がいい。

〈委員〉

サイクルトレインもそうだが、宣伝力が足りず利用されるべき人に認知されていない。楽しみ方のモデルとしての紹介があってもいいし、宣伝にも工夫が必要。

〈委員〉

観光は常に動いている。結果報告ではなくリアルタイムで検索したいので、できれば委員会、団体にも情報を流してほしい。

〈事務局〉

今後そういった事業があれば皆さんに情報を発信したい。

(3) 今後のスケジュールについて

＝資料に基づき事務局より説明＝

- ・10月1日のグランフォンド糸魚川に台湾のブロガーが参加する予定。

4、その他

〈委員〉

最後に、近況報告を上越市さんから順にお願いしたい。

〈委員〉

- ・7月26日～30日、中国の琿春（こんしゅん）市へ出張に行ってきた。内容としては、昨年 上越のサケ祭りに琿春市から来られた際「とても素晴らしいイベントだ。上越市の街並みはすごい。これを基に中国でも同じようなイベントがしたい。」ということで、その第1回のイベントに招待してもらった。
- ・ブースでは抹茶の振る舞い、着物の着付け・記念撮影、パンフレットも置かせてもらったが、中国語と日本語なので言葉の壁があった。タイトルを含め、内容よりも目を引くものの方が興味を示すと教えていただいた。パンフレットにはぱっと見てこれをやってみたい、ここへ行ってみたい、となるような写真等があればいい。

〈委員〉

6月4日～7月30日に、初めて北アルプス国際芸術祭を開催。延べ20万人にお越しいただいた。課題も見えてきたので、今後活かしていきたい。これからは目の前に控えて

いる北アルプスの山々をうまく活用した観光をしていかななくてはならない。

〈委員〉

8月末にサマージャンプ大会を開催。毎年イベントなのでマンネリ化していて集客に苦労している状態。

〈委員〉

- ・グランフォンドに参加する台湾のプロガーの件は、白馬村観光局と連携しながら対応。前日朝日町で一泊したのちグランフォンドに流れる工程を作っている。
- ・国内の観光事業をやっており、8月4日～6日で海のイベント4本が重なっている。内容は①若者をターゲットにしたマリンスポーツのアクティビティイベント ②昭和女子大学の学生とコラボレーションした海の家 ③福島県の子供たちを招待し、2泊3日でヒスイ海岸で楽しんでもらうもの ④宮崎海岸でのトレジャーハンティング
- ・前回も要望したが、糸魚川―越中宮崎間のトキめき鉄道を使い、視野の広がったものが展開できれば面白いと思う。

〈委員〉

夏休みシーズン限定のシャトルバス等多く出している。市内からは広域的なバス等があればいいという話をいただくので、またご意見をうかがいたい。

〈委員〉

- ・7月22日、23日と真夏の雪まつりがあったが、1日目が快晴、2日目が大雨で、2日目には雪がほとんどなかった。
- ・多言語のコールセンターの開設を進めている。

〈委員〉

北アルプス地域振興局と合同で、北アルプスの商品を大都市圏へ持って行きPR。また、飲食店創業支援事業を行っている。

〈委員〉

- ・北アルプス国際芸術祭だが、作品が展示されている場所を通して「大町こんな良いところあったんだね」という声を多くの方からいただいた。
- ・糸魚川へ行ったらどうなるか、小谷村の〇〇駅に食べるころはあるか、等聞かれる。お客様に対してきちんとした案内ができるよう、このエリアの最低限の情報は知っておくべき。

〈委員〉

各地域の目指す姿・目標について意見交換をしている。新潟県・富山県とのエリアを含めていろいろなことを進めていけたらと思っている。

〈委員〉

自転車の関係について、久比岐自転車道40周年記念イベントを、今年9月16日～

10月15日の1か月間開催。大きく分けて①9月16日、17日に自転車道の沿線でグルメやスポーツなどといったものでサイクリストをお出迎え ②ガイドサイクリングツアーを2回開催 ③フォトラリー&スタンプラリー の3つ。

長野県の皆様にはご協力いただくとおもうがよろしくお願ひしたい。

〈委員〉

マリンドリームに来るお客様の7割が長野県。近県連携しながら、お出でいただいた方に満足感を持っていただくよう心掛けていかなければならない。今後とも、よろしくお願ひしたい。

また、今年大糸線が60周年になる。新しい事業紹介のため、糸魚川市の建設課が説明に来ているのでご説明を願ひたい。

〈糸魚川市建設課〉

=資料に基づき説明=

〈糸魚川市観光協会〉

質問、お話ししたいこと等はないか(なし)

会議の中で出された、これから実施する事業の周知をお願ひしたい。

5、閉会挨拶

〈糸魚川市観光協会〉

(14:00～ 15:40 終了)